

まよりのくらみっさん



今回はパチスロの話。

未練打ち、という言葉をご存知でしょうか。

その日の大負けが確定した後、未練たらしくホールを出ず、普通に考えれば座ってはダメな台に吸い込まれるように座り、当然の結果として傷を広げるといった行為。

負けを取り戻すとか、時間をつぶすとか、何かしらの意志があつての行動ではないという点がポイント。

僕が一番好きなパチスロライター、木村魚拓の代名詞です。



木村魚拓コラム「未練打ち」

15年ほど前、パチスロ必勝ガイドというパチスロ情報誌で連載されていました。

ほぼ毎回のように、先日こんなダメな立ち回りをした結果これだけ負けた、という内容。

他のライターさん達は、何とか見どころのある実践譜をあげようと頑張っていたのに対し、この木村魚拓コラムのしょぼさ&ひどさ。

ダメを極めたコラムとでも言うのでしょうか（良い意味で）。

書籍化されているので、機会あったら読んでみてください。

パチスロ実戦動画「ツギハギファミリア」

最近、ヒマがあればこの動画ばかり観ています。

内容は、オトンと姉ちゃんとペロ（息子）の家族3人でノリ打ちをして、勝利を目指すというもの。

全編にわたって木村魚拓の良さとダメ具合がてんこ盛りです。

何度観ても面白い、僕にとっては究極のバラエティー番組。

パチスロ系雀士の皆さんには是非一度観てみてもらいたいです！



おしまい